平成２９年度　中高生海外研修事業　体験発表会について

～「まえばし学校フェスタ 2017」の中で実施～

１　日　時

　　１１月１８日（土）　９：００～１５：３０

　　振り返りの学習、発表準備、ブース発表

　　１１月１９日（日）１０：００～１５：３０

　　ブース発表、ステージ発表

２　会　場　　前橋プラザ元気２１

３　内　容

（１）振り返り学習（501 学習室：中学生のみ実施）

　　※保護者・教育委員会関係者のみ参観

（２）ステージ発表（１階にぎわいホール：中高合同で実施）

○本研修の様子を市立前橋高校の生徒と中学生がそれぞれ１５分ずつ発表

○「I still call Australia home」の斉唱（中学生のみ）

（３）ブース発表（３階ホワイエ：中高合同で実施）

○模造紙やオーストラリアグッズの展示と解説（個人発表）

　　※校種別・班別に発表ブースをつくり、研修生が交替で発表

○ＤＶＤ上映

４　見学者　　学校関係者、保護者・家族、一般市民　２日間で約４００人

５　体験発表会の成果と課題

（１）中学生

○「振り返り学習」（研修の成果と課題）について

・オーストラリアと日本のよいところを書き出した後、各グループ内で意見交流をした。オーストラリアと比較することで、日本のよさや日本人の特長を改めて実感することができた。

・自分たちが学び、成長した点を「興味・関心」「知識・理解」「技能・能力」「思考・判断」の４つの観点から各班で振り返った。この過程を通して、自らの成果と課題を明らかにし、今後に活かそうとする意欲を持つことができた。

○「ステージ発表」について

・事前研修・本研修の様子を、スライドショーに合わせて生活班の班長４名が説明した。また、研修生が事前に提出した研修の「成果と課題」をもとに原稿を作成し、インタビュー形式で６名が発表した。４０名の研修生のうち、残り３０名の活躍の場を工夫する必要がある。

○「ブース発表」について

・研修テーマは、「オーストラリアの学校生活」などのほかに、「水事情」「ゴミのリサイクル」「コアラとユーカリ」「スポーツ」「習いごと」など、多岐にわたっていた。また、研修生は自ら見学者に声をかけ、研修したことを堂々と説明したり、見学者の質問に丁寧に答えたりすることができた。

（２）高校生

○「ステージ発表」について

・研修生全員で役割分担を行い、「研修の概要」と「研修の成果」等について発表した。

・現地校で行ったプレゼンテーション（日本の紹介、前橋の名所・名物）について紹介があったが、１０名の研修生が各テーマについて深く掘り下げて調査している様子が印象的であった。

○「ブース発表」について

・研修テーマが「バーンサイド高校の校則や罰則」や「大学入試制度」など高校生らしい視点のものが多かった。見学者も興味を持って質問等をしていた。

　　※３年間は異なる研修テーマで行うという校内での約束がある。

・掲示場所がブースの一番奥に位置していたため、中学生の保護者などは足を運びづらい印象であった。